

第29回臨床微生物学会教育セミナーアドバンストコース開催報告

日程：令和5年10月14日（土）13時～18時

場所：Web開催（AP品川アネックスより配信）

【テーマ：ポストコロナのこれからの検査室と感染症診療を考えよう】



プログラム

12:20-13:00 受付

13:00-13:10 開会式 教育委員会委員長 大毛 宏喜

13:10-13:40 講義①：「感染症検査機器の最近の話題 ―遺伝子検査装置―」
中村 明子（愛知医科大学病院感染制御部）

13:40-14:10 講義②：「新規薬剤について」
浜田 幸宏（高知大学医学部附属病院 薬剤部）

14:10-14:40 講義③：「ASTの医師が求めるこれからの検査室」
渋谷 寧（横浜市立みなと赤十字病院感染症科）

14:40-15:00 休憩

15:00-17:50 症例提示・グループディスカッション

症例提示① *Shewanella algae* 菌血症

相野田 祐介（国立がん研究センター東病院感染症科
/東京医科大学八王子医療センター感染症科）

症例提示② *Mycoplasma hominis* 菌血症+肺膿瘍の症例

藤谷 好弘（札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座）

※zoomのブレイクアウトルームを利用してグループディスカッションを実施。

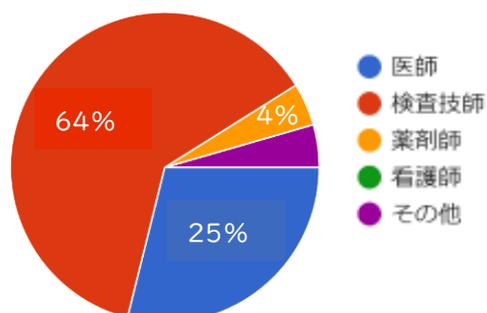
グループはファシリテーター（進行役）、参加者の7名程度で構成。

医師、薬剤師、検査技師など、多職種でコミュニケーションをとりながら、

原因微生物や治療マネジメントについてディスカッションした。

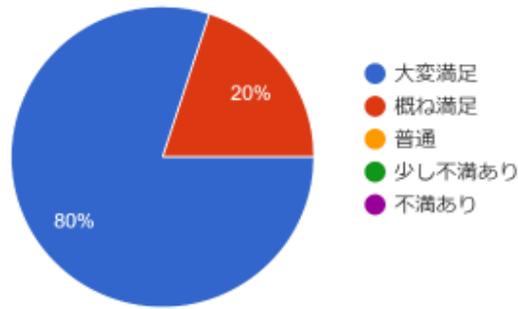
17:50-18:00 修了式

参加者の内訳



医師	14名
検査技師	35名
薬剤師	2名
看護師	0名
その他	4名
合計	55名

セミナーの内容について



参加者の声（アンケート結果より）

- ・多職種の方とディスカッションができたのが非常に有意義でした。
- ・初めての参加でした。この研修会で、日常経験することのできない症例をディスカッションできるのは非常に有用だと感じました。
- ・薬剤師ですが、薬を選択する上で重要な培養検査等について、ピットフォールなども含めて検査技師さんからの情報を学ぶことができ、大変参考になりました。

グループディスカッションファシリテーター、講師、運営委員



運営担当：藤田 崇宏（国立病院機構北海道がんセンター）、中山 麻美（東北大学病院）

渋江 寧（横浜市立みなと赤十字病院科）、浜田幸宏（高知大学医学部附属病院 薬剤部）、
佐々木 雅一（東邦大学医療センター）、静野 健一（千葉市立海浜病院）、
森 伸晃（愛知医科大学）、金子 幸弘（大阪公立大学）、関谷 紀貴（東京医科歯科大学）、
片山 充哉（国立病院機構東京医療センター）、倉井 華子（静岡県立静岡がんセンター）、
鈴木 純（岐阜県総合医療センター）、寺田 教彦（筑波メディカルセンター病院／筑波大学）、
相野田祐介（国立がん研究センター東病院／東京医科大学八王子医療センター）、
藤谷好弘（札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座）、
中村 明子（愛知医科大学病院感染制御部）、

文責：中山 麻美